

歯科材料 6 歯科用印象材料
一般医療機器 歯科複模型用寒天印象材 70890000

ボナイーダブル

【形状・構造及び原理等】

〔形状〕ゲル状

〔成分〕寒天、プロピレングリコール、グリセリン、
水、その他

【使用目的又は効果】

- 1) 寒天を主成分とする印象材で、主として複模型の作製に用いる。
- 2) リン酸塩系埋没材、石こう系埋没材、石こうの複印象及び流し込み義歯床用レジンの寒天コア作製に使用する。

【使用方法等】

- 1) 溶解
 - ① 本材を約 1 cm 角の大きさに切断する。
 - ② 寒天溶解器又は手鍋で加温して溶解する(溶解温度は 93℃)。
 - ③ 寒天溶解器の場合は、取扱説明書等に従って溶解する。
 - ④ 手鍋を用いる場合は、必ず間接加熱(湯煎)を行い、攪拌しながら溶解する。
- 2) 冷却・保温
 - ① 寒天溶解器を使用する場合は、保温温度を 38～42℃に設定して冷却・保温する。
 - ② 手鍋で溶解する場合は、38～42℃になるまで室温放冷する。
- 3) 流し込み
 - ① 石こう模型を寒天用フラスコにセットする。そのフラスコに 38～42℃の本材を流し込む。
- 4) 冷却
室温下で放冷する。

〔複印象用に使用する場合〕

- ① 入後、室温下で放冷する。約 30 分放冷したのち、フラスコのゴム台部分のみを約 10 分間水中に浸す。その後、フラスコの底から 1/3 程度まで浸し、約 30 分間流水で冷却する。
- ② 冷却後、石こう模型の周囲の本材をスパチュラ等で浅く取り除き、エアを吹きかけながら、フラスコから石こう模型を取り出し、印象面の付着水をエア等で充分取り除いて、埋没材を流し込む。
- ③ 約 40～50 分後、寒天模型から耐火模型を取り出す。

〔寒天コア作製用〕

- ① 注入後、約 15～20 分間室温下で放冷し、その後、底から 1/3 程度まで水中に浸し、約 30～40 分間流水で冷却しセットする。

【使用方法に関連する使用上の注意】

- 1) 水分が蒸発すると変質するので、密封して保存すること。
- 2) 印象面に残留した付着水分は複模型の面荒れの原因になるので耐火埋没材を流し込む前には、エア等で付着水分を充分取り除いておくこと。
- 3) 石こうや石こう系又はリン酸塩系埋没材を用いた本材の混在使用は避けること。

- 4) 寒天に付着した石こうや埋没材、レジンとは水で洗浄して取り除いておくこと。
- 5) 反復使用(再加熱使用)により、水分が減少していることがあり新しい本材を追加する時は、水を多く加えずしないこと。

【使用上の注意】

〔重要な基本的注意〕

- 1) 溶解、保存中及び流し込み時に本材が、皮膚等に付着すると低温火傷を引き起こすことがあるため、取扱いに注意すること。
- 2) 本材に対して発疹、皮膚炎などの過敏症の既往歴のある人は使用しないこと。
- 3) 本材の使用により発疹などの過敏症状が現れた術者は使用を中止し、医師の診察を受けること。

〔保管方法及び有効期間等〕

〔保管方法〕

- ・本材は密封し、室温(1～30℃)で保管すること。
- ・使用後、再溶解までは、寒天溶解器中で保管するか、密封できる容器に入れて保管すること。
- ・本材は、歯科の従事者以外が触れないように適切に保管・管理すること。

〔有効期間〕

本材の使用期限は包装に記載のとおり。

〔当社データによる〕

※(例)  YYYY - MM - DD は→使用期限 YYYY 年
MM 月 DD 日を示す)

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者 エービーエス株式会社

製造業者 Interdent d.o.o.

国名 スロベニア